

# 日々積み重ね 奇跡生む

薬師寺

まほろば塾

## 和歌山塾

24日に和歌山市の和歌山県民文化会館で開かれた「薬師寺まほろば塾 和歌山塾」（法相宗大本山薬師寺、読売新聞社主催）では、宗派を超えた僧侶がトルコ・シリア大地震の犠牲者追悼と復興祈願の法要を営んだ。講演や鼎談では心の大切さを説き、約160人の参加者は熱心に耳を傾けていた。

法要では、同寺の本尊・薬師三尊像（国宝）の等身大の掛け軸を掲げた舞台

## 田中監督、加藤管主ら鼎談



日々の積み重ねの大切さについて語る田中光敏さん(左)と加藤朝胤・薬師寺管主(和歌山市で)＝金沢修撮影

で、同寺や和歌山県内の西山浄土宗の僧侶らでつくる「南部青年僧の会」の有志ら計10人が誦経した。阿弥

ルコの犠牲者らを追悼でき

たのは貴重」と振り返った。映画監督の田中光敏さんは、和歌山県沖で起きたトルコ軍艦の海難事故を描いた映画「海難1890」の制作秘話を披露。資金集めに苦労したものの、トルコ政府に手紙を送るなど諦めずに行動し続けた結果、映画化が実現したことを語り、「積み重ねる力は奇跡を起こす」と力を込めた。和歌山市の上村美重子さん(70)は「熱い思いを持っていれば周囲も協力し、夢が実現すると示してくれた。勇気づけられた」と話した。薬師寺の加藤朝胤管主は、田中さん、大谷徹英・同寺執事長との鼎談で、「映画が二コマ二コマの積み重ねで感動を与えるように、心をつくるのも毎日の積み重ねが大事」と強調し

た。同市の農業、津村浩諒さん(70)は「心の勉強が必要だと感じた。人間関係を大切にしたい」と語った。この日の参加費は全額、

同大地震の復興支援金として、加藤管主から島精機製作所(和歌山市)名誉会長の島正博・在和歌山トルコ名誉総領事に贈呈された。

## 薬師寺

まほろば塾

田中光敏さんら  
人の絆語り合う

日本人の心のあり方を考える「薬師寺まほろば塾」(法相宗大本山薬師寺、読売新聞社主催)の和歌山塾が

24日、和歌山市の和歌山県民文化会館で開かれた。映

田中さんは講演で、映画制作を振り返り「言葉や国境を超え、目の前の人を助けたいというまっすぐな思いを表現した」と話した。鼎談では、3人が人の絆や心の大切さについて語り合った。(後日詳細を掲載予定)

## 社会面



心大切さについて語り合う(左から)大谷執事長、田中さん、加藤管主(24日、和歌山市で)